

平成26年度第2回障がい当事者支援プロジェクト会議録

日時：平成26年11月7日（金）13:30～15:30

場所：三重県身体障害者総合福祉センター大研修室

参加者：プロジェクトメンバー9名、事務局4名

## 1. 自己紹介

- ・参加メンバーが一人ずつ簡単な自己紹介をしました。

## 2. 障がい当事者支援プロジェクトの目的の確認

- ・第1回目と同じように事務局の担当者から、プロジェクトの目的が説明されました。

・プロジェクトの目的は、「障がいがあってもなくても暮らしやすい社会にし  
ていくにはどうすればよいかを考えるための場所」です。

## 3. 障がい当事者支援プロジェクトのルールについて

- ・事務局の担当から、プロジェクトで守って欲しいルールが伝えられました。

①参加メンバー全員が意見を言いあえるようにすること。そのために、自分だ  
けでなく、他の人の意見もきちんと聞くこと。

②これから考えたいこと、やりたいことはできるだけ参加メンバーのあいだ

きめること。手伝いが必要なことがあれば担当者に伝えること。

③わからないことがあればいつでも質問すること。聞かれた人は教えてあげること。

④このプロジェクトで聞いた他のメンバーの個人情報勝手に他の場所ではべらないこと。

#### 4. 前回（8月）話し合ったこと

・事務局の担当者から、前回話し合ったことが説明されました。

・前は、これからプロジェクトでやりたいことを自由に話し合いました。

普段の生活の中で困ったことや感じたこと、これから必要だと思うことを

自由に話し合いましたが、もう少し時間をかけて、お互いの障がいの違いを

知るために2回目も自由な意見交換を続けたいということになりました。

#### 5. グループ別に話し合い

・今回も参加者が2グループにわかれて、「お互いのことを知る」というテーマ

で自由に話し合いました。

・具体的には、障がいがあることでいやだったことやうれしかったこと、周り

の人たちにわかってほしいこと、仕事のこと、などについて話し合いました。

- ・この下<sup>した</sup>に書いてあることは各グループ<sup>かくぐるーぶ</sup>から挙げ<sup>あが</sup>った主な意見<sup>おもいけん</sup>です。

○障<sup>しょう</sup>がいがあることでいやだったこと、周り<sup>まわり</sup>の人にわかってほしいこと

- ・障<sup>しょう</sup>がいのない人<sup>ひと</sup>や障<sup>しょう</sup>がいが無<sup>な</sup>かった頃<sup>ころ</sup>の自分<sup>じぶん</sup>、障<sup>しょう</sup>がい<sup>か</sup>る<sup>か</sup>った頃<sup>ころ</sup>の

自分<sup>じぶん</sup>と、今<sup>いま</sup>の自分<sup>じぶん</sup>を比<sup>くら</sup>べてしまうこと。

- ・見た目<sup>みため</sup>ではわかってもらいにくい自分<sup>じぶん</sup>の生<sup>いき</sup>づらさを周り<sup>まわり</sup>の人がわかってくれないこと。

- ・周り<sup>まわり</sup>の人がわかってくれないので、よけい<sup>よけい</sup>に（自分<sup>じぶん</sup>自身<sup>じしん</sup>の）障<sup>しょう</sup>がい<sup>を</sup>

受け入<sup>うけい</sup>れることを難<sup>むず</sup>しくなっているのではないか。

- ・周り<sup>まわり</sup>の人に気<sup>き</sup>を使<sup>つか</sup>ったり、甘<sup>あま</sup>えながら生<sup>せい</sup>活<sup>かつ</sup>していくしかないこと。

- ・親<sup>おや</sup>が過<sup>か</sup>保<sup>ほ</sup>護<sup>ご</sup>すぎて色<sup>いろ</sup>んな経<sup>けい</sup>験<sup>けん</sup>を積<sup>つま</sup>ませてもらえなかった。

- ・福祉<sup>ふくし</sup>の制<sup>せい</sup>度<sup>ど</sup>を使<sup>つか</sup>いたいが自<sup>じ</sup>由<sup>ゆう</sup>に使<sup>つか</sup>えないことが多い。

- ・自分<sup>じぶん</sup>ひとりでできないことも多いので、親<sup>おや</sup>や家<sup>か</sup>族<sup>ぞく</sup>がいなくなった時<sup>とき</sup>の不安<sup>ふあん</sup>が

おおきい  
大きい。

○うれしいことやよかったこと

- ・障<sup>しょう</sup>がいがあったからこその出<sup>で</sup>会<sup>あい</sup>いがたくさんあったこと。

- ・経<sup>けい</sup>験<sup>けん</sup>を活<sup>いか</sup>かして自分<sup>じぶん</sup>がやりたいことができたこと。

- ・障<sup>しょう</sup>がいのあるなしに<sup>かんけい</sup>関係<sup>けい</sup>なく、自分<sup>じぶん</sup>のことをわかってくれる仲間<sup>なかま</sup>と一緒<sup>いっしょ</sup>に  
すごせること。

- ・「障<sup>しょう</sup>がい」を否<sup>ひ</sup>定的<sup>てい</sup>な言<sup>こと</sup>葉<sup>ば</sup>でなく、愛<sup>あい</sup>情<sup>じょう</sup>を持<sup>も</sup>って、あ<sup>あ</sup>り<sup>り</sup>のま<sup>ま</sup>を受<sup>う</sup>けとめ<sup>める</sup>

ことば <sup>つかって</sup>  
言葉として使っていきたい。

しごと  
○仕事のこと

- ・ <sup>はたらきたくて</sup>働きたくても <sup>はたらけない</sup>働けないことについて <sup>まわり</sup>周りの <sup>りかい</sup>理解がない。 <sup>ひはん</sup>批判されることもある。
- ・ <sup>じぶん</sup>自分にあつた <sup>はたらきかた</sup>働き方をさせてもらえない。
- ・ <sup>はたらけない</sup>働けない = <sup>おかね</sup>お金の <sup>ふあん</sup>不安が大きい。
- ・ <sup>じぶん</sup>自分なりの <sup>はたらきかた</sup>働き方ができ、 <sup>おかね</sup>それでお金をもらえているので、とてもありがたい。

じかい  
5. 次回のこと

- ・ <sup>だい3かい</sup>第3回も <sup>ひきつづき</sup>引き続き、 <sup>おたがい</sup>お互いのことを知るための <sup>しる</sup>話し合いを <sup>はなしあい</sup>続けることになりましたが、 <sup>なに</sup>何か <sup>てーま</sup>テーマがあつた方が <sup>ほう</sup>話を <sup>はなし</sup>しやすいという <sup>いけん</sup>意見が <sup>でました</sup>出ました。
- ・ <sup>てーま</sup>テーマの <sup>あん</sup>案として、 <sup>じぶん</sup>自分の <sup>しょう</sup>障がいのことを <sup>ほか</sup>他の人 <sup>ひと</sup>にどうやって <sup>しって</sup>知ってもら  
うか、 <sup>じぶん</sup>自分から <sup>つたえれば</sup>どうやって伝えればよいか、 <sup>いけん</sup>という意見が <sup>でました</sup>出ました。